

# 地域健康ウォーキング 100 回の思い出写真

(平成 21 年 9 月～平成 30 年 9 月)

主催：神戸市シルバーカレッジ友が丘クラブ  
写真と文：菅田 忠志



このウォーキングもここからスタートしたのでしたね。地下鉄横尾～須磨アルプス横断越え～板宿八幡神社(第 1 回)



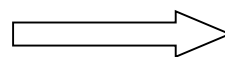
須磨アルプスの縦走もしました。自治会館～奥須磨公園～400 階段～梅尾山～馬の背～横尾(第 4 回)



多井畑福田川支流の田園風景  
ここもかつては太陽と緑の道コースのひとつだったところ(第 6 回)



西区いぶきの森は、団地の開発からは残された雑木林のコース(第 11 回)



対岸の磨崖仏を眺め拝観する一行



太山寺の磨崖仏拝観コース(第 14 回)





白川から藍那方面に残る“太陽と緑の道” 途中には放置されたまま残る自家用車が……。昔は車が通れるくらいの道だったものが今では運び出すことも出来ない道になったためこの先も放置するしかない？(第17回)



この頃はまだ若かった。 またまた須磨アルプス梅尾山に登り、展望やぐらで視界を楽しむ。「あれが明石海峡大橋や」 ここから離宮公園への尾根道下り。(第19回)



白川の北に残る奇岩“夫婦岩”にも行きました。約30mほど離れて鎮座する大きく平らな岩塊に地層の不思議を感じました。(第21回)

北区星和台～君影町～イヤガ谷東尾根コース。対岸の菊水山が望まれるコース。地味ながら静かなコースでしたね。この下に完成した石井ダムが出来るまでは、神鉄も川沿いに走っていた(今はダムを迂回してトンネルに)。その頃から無人駅だった「菊水山」で下車し、“妙号岩”でよく岩登りのトレーニングをしていた思い出の場所。(第22回)





東名谷の街中の一角に残る小山の中には“忠孝岩”と呼ばれる大きな岩が歴史を見守るようにおさまっていました。(第 26 回)



須磨海岸周辺の名勝めぐりコース。かつては和田岬灯台として稼働していたこの灯台も、役割を終えここに移され、“須磨の赤灯台”として親しまれています。(第 34 回)



西区近江寺“鬼やらい”の儀式に合わせて歩いたコース。この日は、追儺式の時間に合わせるため珍しく弁当持参。コース途中の明石川の岸辺で昼食。追儺式と餅まきを楽しんだコースでした。(第 28 回)



平清盛ブームに乗って賑わっていた大和田の泊・兵庫津の道を巡るコース。兵庫大仏より売店の方が気になるみなさん。(第 30 回)





地域の健康ウォーキングも 50 回を迎えた平成 26 年 2 月。自治会館をスタートし、奥須磨公園～高倉おらが山～離宮公園～ゴールの一ノ谷プラザで昼食懇親会を行ない、記念の缶バッジの進呈と、50 回までの抜粋画像を鑑賞してもらいました。(第 50 回)



三木市神鉄緑が丘～  
カンデカンデコース。



カンデカンデで野菜を  
メインとしたバイキング  
には、ちょっと物足り  
なさの声も。  
(第 56 回)



須磨区コスモスの丘～西区学園都市方  
面を歩いたコース。斬新な公園には“風  
の森”という彫刻が刻まれていました。  
(第 57 回)



明石川の流域に今なお面影を残す西区の“林  
崎疎水”も歩きましたね。この地方は台地上  
のために、水田用の水の確保に苦勞し、明石  
川から疎水を引いて確保した水路で、今も現  
役だそうです。(第 67 回)





西区と明石市にまたがる子午線めぐりのコース。あまり知られていないけれど、意外とあちこちにいろいろな子午線標識が設置されていました。(第 65,76 回)



長田の平忠度の遺跡を辿るコースでは、鉄人 28 号モニュメントの足元を通過。デッカかったねえ。ご存じ神戸出身の漫画家、故・横山光輝さんの作品「鉄人 28 号」のキャラクター。「神戸鉄人プロジェクト」が震災復興と地域活性化の期待を託し、作られたものでしたね。(第 71 回)



おらが山から須磨寺・天神コースは、年間でも最も寒い時期でしたが、多くの方が参加されました。須磨寺～天神さんに通ずる門前町界限は、関係深い菅原道真にちなんで「智慧の道」と呼ばれ、それぞれの祭事には多くの参詣者でにぎわうところでした。(第 72 回)







神戸農業公園～桜が丘～神鉄栄まで歩いたコースでは“神戸ワイン城”にも立寄りました。ここで作られた神戸ワインもかつてほどの人気もなくなったかな？(第78回)



兵庫運河の岸边周辺にも行ってみました。5つの運河の総称で、和田岬沖の荒波を避ける航路として明治7年に着工、難工事で途中中断しながらも明治37年に完成。昭和40年代くらいまでは貯木場としての役割で栄えましたが、次第にヘドロがたまり悪臭を発するようになっていました。その後ヘドロのしゅんせつも進み、きれいな海水に戻っています。最近では「レガッタ競技」や、地元小学校では「真珠の養殖」に取り組み、環境学習の一環として先輩から後輩へと引き継がれるまでに改善してきているんです。(第87回)



北区上谷上、下谷上地区は、国内でも有数の“農村歌舞伎舞台”現存地域です。保存状態も良く“丹生山田の里文化財”とし受け継がれ、今なお地域の人たちによって大切に守られ、毎年農村歌舞伎の上演もあり、たくさんの人たちが観劇に訪れるそうです。(第89回)



農村歌舞伎の様子(NETから引用)





西区のコースでは、如意寺や松本自噴泉が印象に残っています。そうそう松本地区には「二星」姓の家が多かったですね。二星神社はその方たちで祀っている神社。(第92回)



“山麓リボンの道”の西端のコース。五色塚古墳に登り、明石海峡大橋の下をくぐり、国道2号線・山陽電鉄西舞子駅近くに建つ「山麓リボンの道 起終点」の石標場所で記念撮影。(第94回)



しあわせの村の里山も案内しました。このコースの中で立寄った“花実の森”は、日頃から里山整備活動をしているところ、丁度ササユリが可憐に咲いていました。(第98回)



100回目は、素盞雄神社、大歳神社、山伏山神社の白川三社参りで締めくくり。(第100回)

これでおしまいお疲れ様でした。